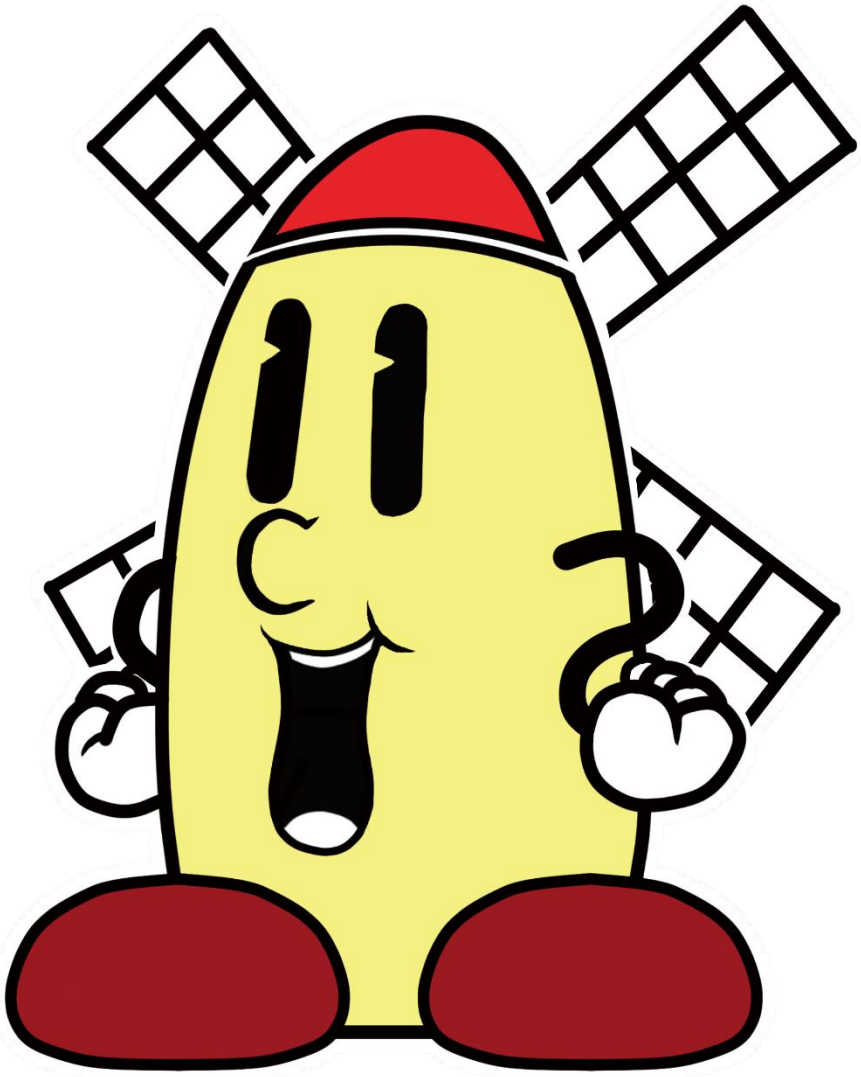
～加入して広げていこう地域の輪～

自治会に関するアンケート

調査結果



平成２７年１１月実施

自治会に関するアンケート調査の概要

１　目的

今日、地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会において、「自治会への未加入世帯の増加」という全国的な課題から、「自治会活動の停滞」、「自治会館等の維持管理費の負担増」、「加入者と未加入者間の不公平感の増幅」など、各種の課題が表面化してきております。

当町でも、自治会への未加入世帯は年々増加傾向にあり、コミュニティ活動の維持が危惧されます。

今回の調査は、自治会運営や課題等を把握することにより、今後の自治会活動の参考とし、自治会の活性化に役立てて行くことを目的にアンケート調査を行いました。

２　調査対象

町内の全ての自治会

※回答は自治会長または役員の方がご記入をお願いしました。

３　回答方法

返信用封筒による返信又は直接持参

４　回答期限

平成２７年１１月３０日（月）までに回答をお願いしました。

５　アンケート調査結果の公表方法

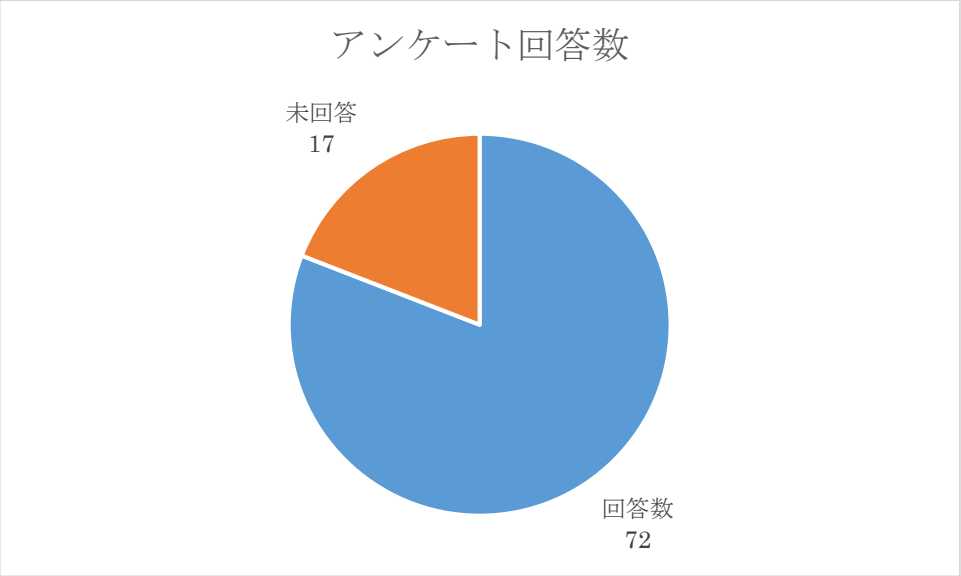
アンケートの調査結果については、下記のとおり公表することを前提にアンケート調査に回答いただきました。

「アンケート調査の結果については、統計的な集計を行い、自治会長、自治会連合会長へ結果報告するとともに、町ホームページにおいて公表します。なお、御回答をいただいた方の氏名や自治会名を公表することはございません。

ただし、自由記入欄などで、他の自治会活動の参考となるような記載については、自治会名を公表させていただく場合がございます。」

アンケート調査の回答結果

今回のアンケート調査は、町内の全ての自治会（８９自治会）に対して実施しました。
結果、７２自治会（約８１％）からご回答をいただきました。



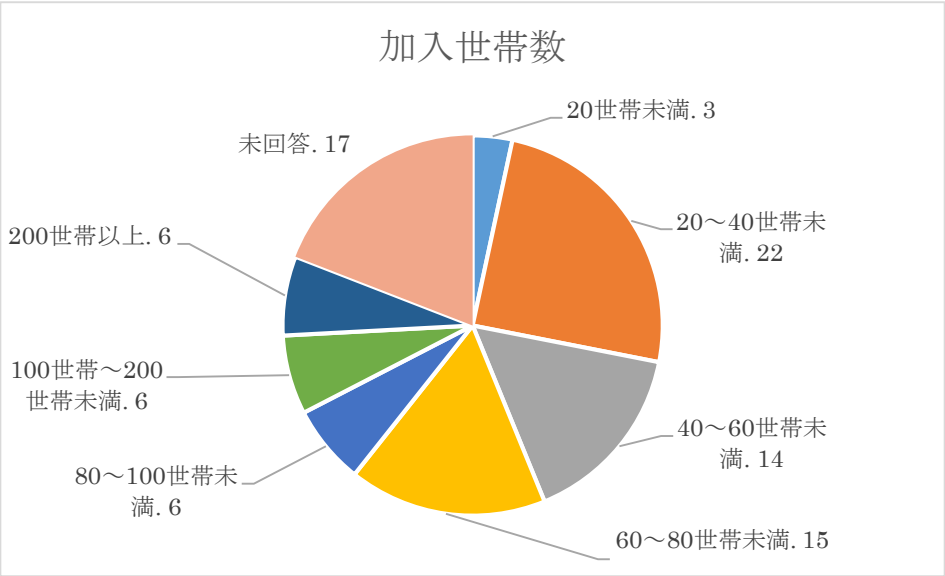
項目	回答数
回答	72
未回答	17

Ⅰ　自治会について

Ⅰでは、「自治会の加入状況」と「年齢構成」、さらに「同一区域における自治会の混在」を確認することを目的に設問を設定しました。

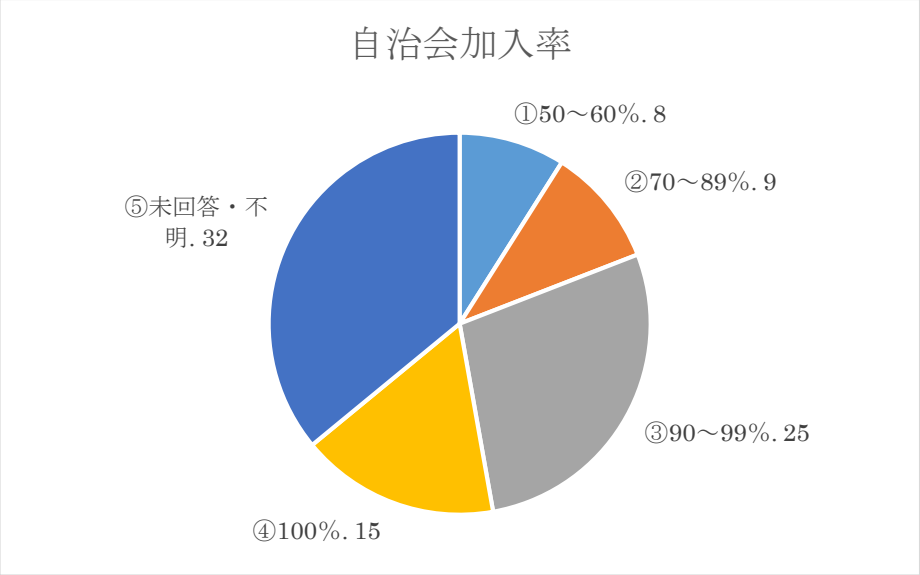
問１　加入世帯数と加入率について

「加入世帯数」については、最小（８世帯）～最大（４００世帯）まで、大きな幅があります。地区では、「ゆめみ野」、「内前野」地区において１自治会あたりの世帯数が多く、「金杉」、「築比地」、「下赤岩」地区で１自治会あたりの世帯数が少ない傾向です。特に加入世帯の少ない自治会は、組織運営面から適正規模への検討が必要です。



項目	回答数
20 世帯未満	3
20～40 世帯未満	22
40～60 世帯未満	14
60～80 世帯未満	15
80～100 世帯未満	6
100 世帯～200 世帯未満	6
200 世帯以上	6
未回答	17

自治会加入率については、「河原地区」、「第３区」、「第５区」で低い傾向にあります。また、「自治会連合会が組織されていない地区」及び「未加入の自治会」、「自治会区域が区分されていない自治会」では、加入率が把握されていない（できない）場合が多い傾向です。



項目	回答数
①50～60%	8
②70～89%	9
③90～99%	25
④100%	15
⑤未回答・不明	32

問２　自治会員の年齢構成について（この項目ではグラフ化は行いません。）

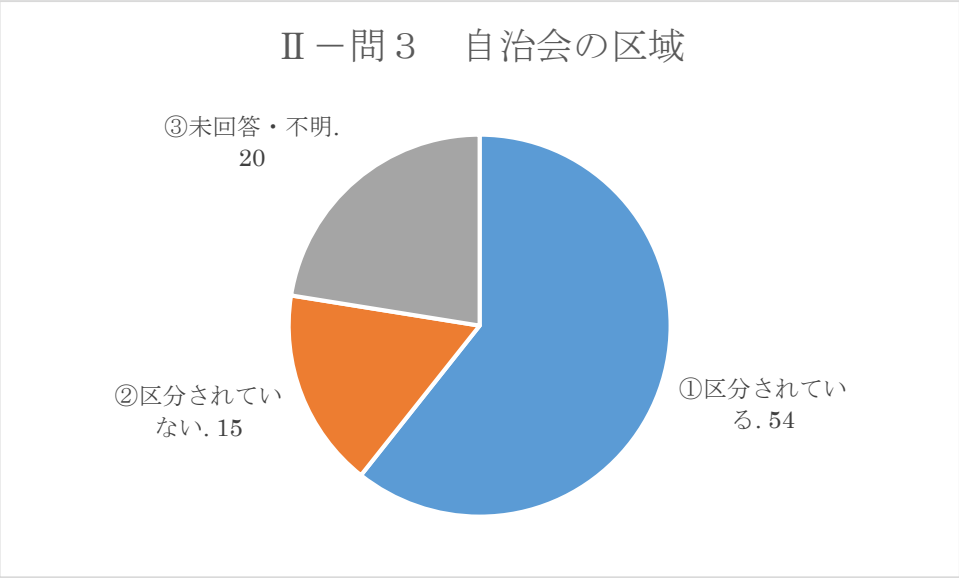
「２０歳～３０歳代」、「４０歳～５０歳代」、「６０歳～７０歳代」、「８０歳代以上」の項目を設けて回答いただきました。

多くの自治会では、「６０歳～７０歳代」の年齢構成が多くなっています。今後の世代交代や若年層の参加について検討が必要です。

問３　自治会の区域について

多くの自治会では、自治会区域が区分されていますが、一部地域においては区域が明確に区分さていません。区分されていない理由では「地元の人と新しい人」、「昔から」など、古くからの地域の歴史により形成された地縁による組織となっているようです。

地域の防災・防犯活動などでは、同じ地域に住んでいる人同士が一緒に活動をすることが望まれます。



項　目	回答数
①区分されている	54
②区分されていない	15
③未回答･不明	20

Ⅱ　自治会の運営について

Ⅱでは、自治会運営全般について設問を設けました。特に自治会運営において課題の多い「自治会費」、「日赤社資や社協会費の集金方法」など金銭的な設問と、未加入者や退会者の増加に関する「高齢世帯への配慮事項」、「未加入・退会者への取り組み」について、各自治会の状況を確認するため設問を設定しました。

問１　自治会の事業について（複数回答）

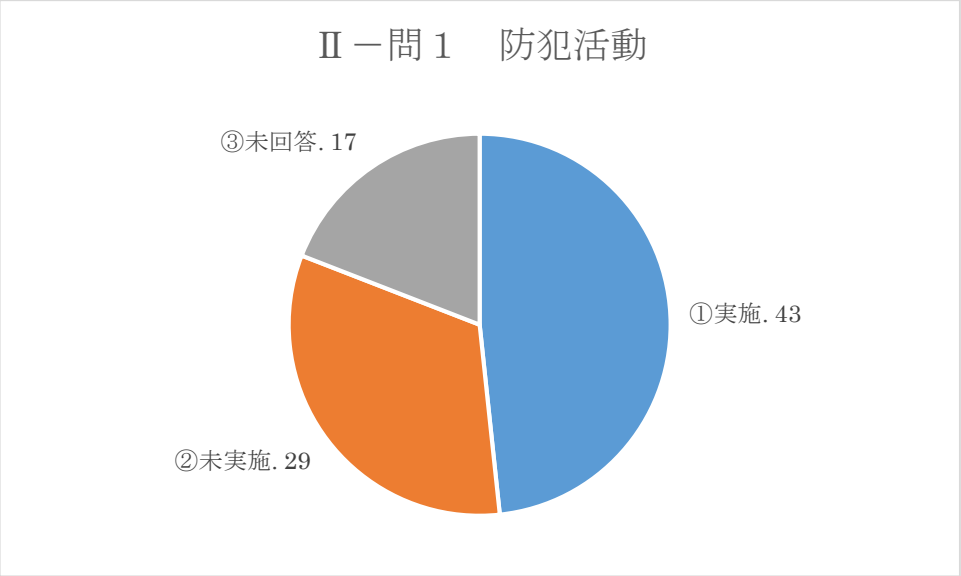
自治会での事業について、「防犯活動」、「防災活動」、「高齢者見守り活動」、「敬老会」、「環境美化活動」、「お祭り、運動会などのレクリエーション活動」、「資源回収」、「子ども会への助成」、「健康クラブ（老人クラブ）への助成」、「募金活動」、「ごみ置場の管理」、「行政等への要望活動」、「冠婚葬祭手伝い」、「神社行事」、「その他」の１５項目を設け、実施している事業を選んでいただきました。

地域によってばらつきがありますが、実施事業が２事業から全ての事業を行っている自治会まであります。

自治会の組織規模や課題、歴史的な背景があり、一概ではありませんが、安易な前例踏襲ではなく、事業の改廃や見直しも必要です。

【防犯活動】

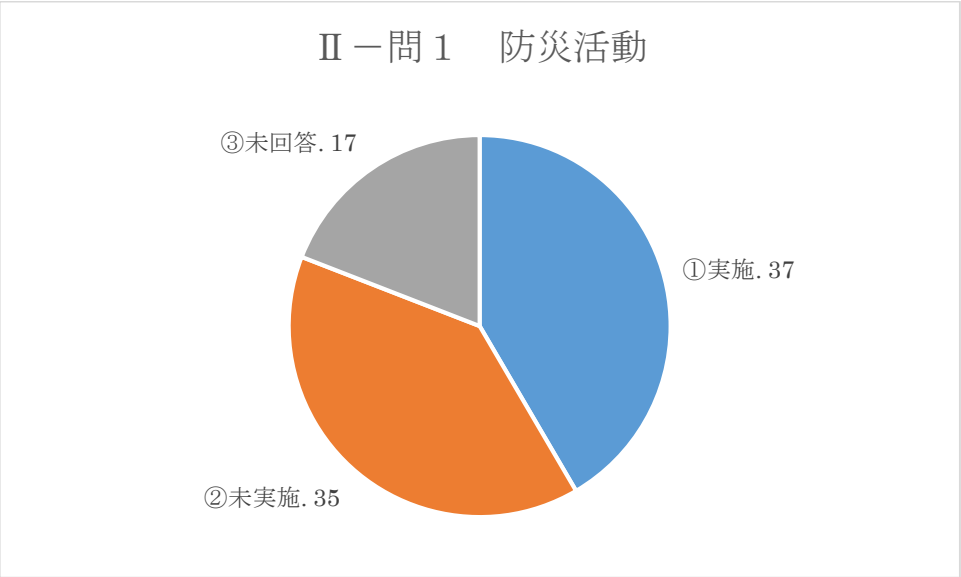
４３自治会において防犯活動が行われています。地域では、「ゆめみ野」、「内前野」、「上赤岩」、「田島」、「金杉」、「築比地上」、「築比地下」、「魚沼」地区での実施率高くなっています。



項　目	回答数
①実施	43
②未実施	29
③未回答	17

【防災活動】

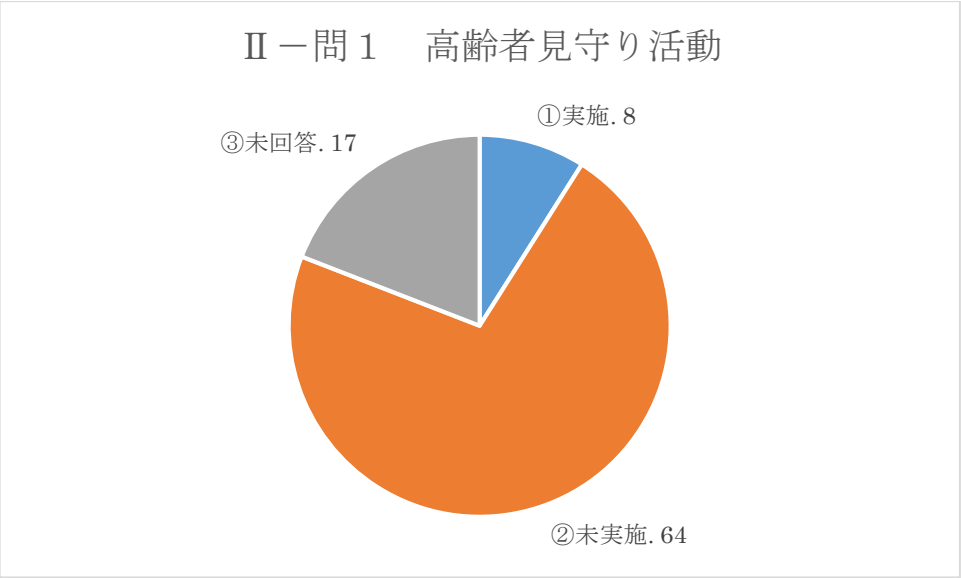
３７自治会において防災活動が行われています。地域では、「松葉」、「ゆめみ野」、「内前野」、「築比地上」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	37
②未実施	35
③未回答	17

【高齢者見守り活動】

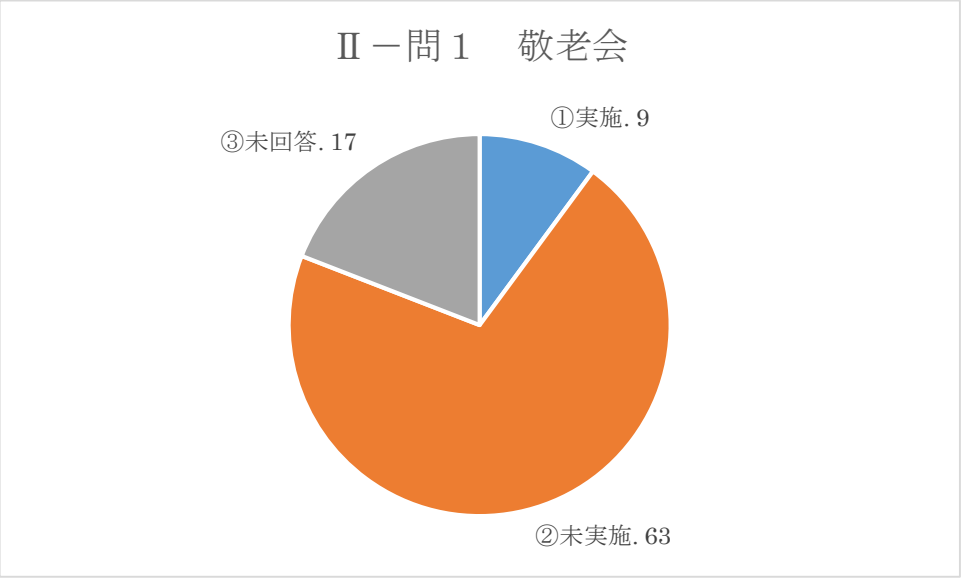
８自治会において高齢者見守り活動が行われています。地域では、「内前野」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	8
②未実施	64
③未回答	17

【敬老会】

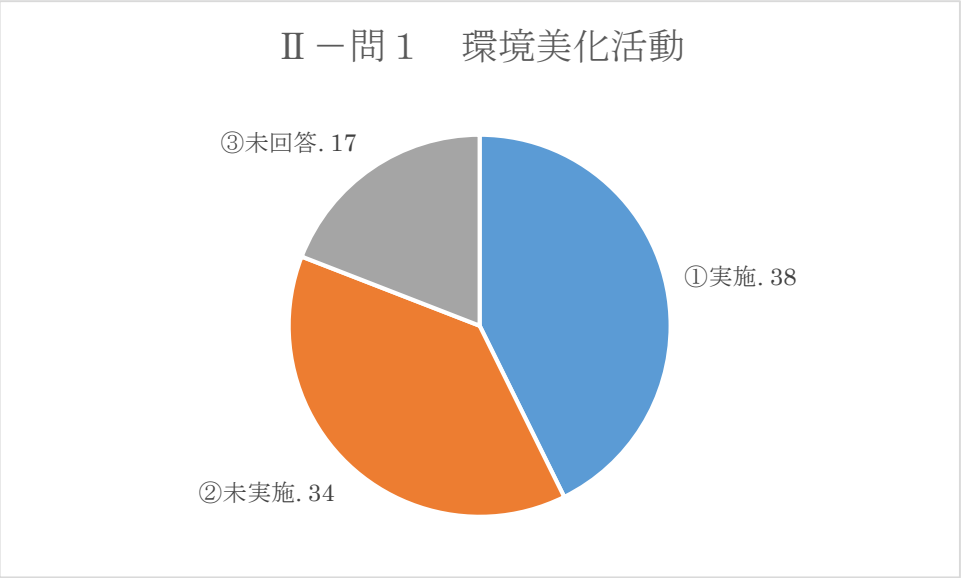
９自治会において敬老会が行われています。地域では、「内前野」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	9
②未実施	63
③未回答	17

【環境美化活動】

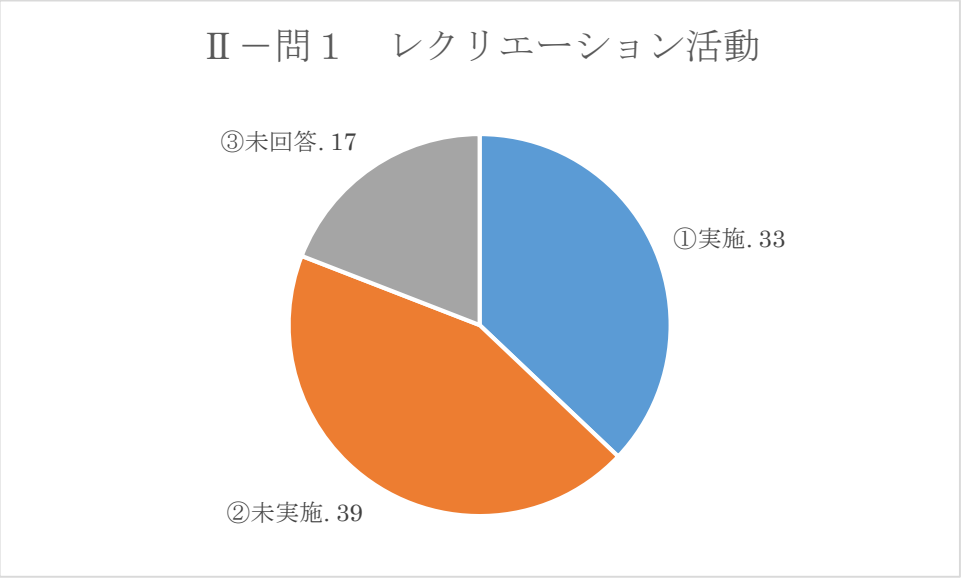
３８自治会において環境美化活動われています。地域では、「ゆめみ野」、「内前野」、「上赤岩」、「田島」、「金杉」、「築比地上」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	38
②未実施	34
③未回答	17

【お祭り、運動会などのレクリエーション活動】

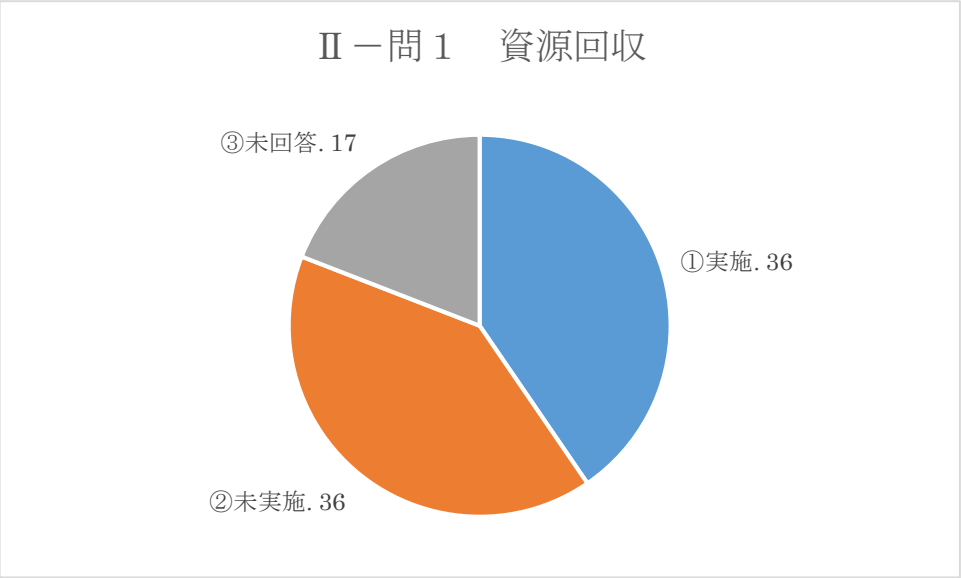
３３自治会において環境美化活動われています。地域では、「河原」、「松葉」、「第５区」、「ゆめみ野」、「内前野」、「田島」、「「築比地上」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	33
②未実施	39
③未回答	17

【資源回収】

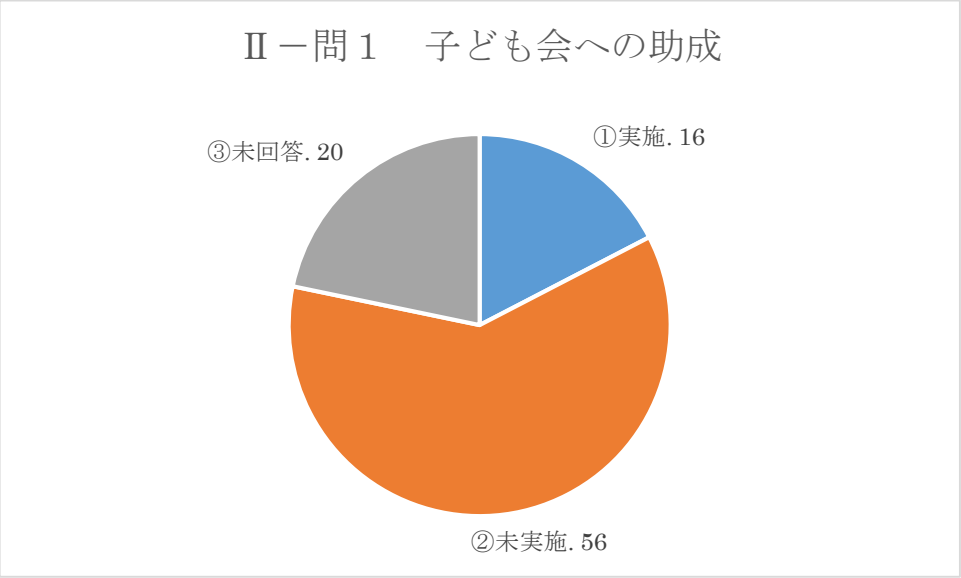
３６自治会において環境美化活動われています。地域では、「松葉」、「内前野」、「大川戸」、「金杉」、「築比地上」、「築比地下」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	36
②未実施	36
③未回答	17

【子ども会への助成】

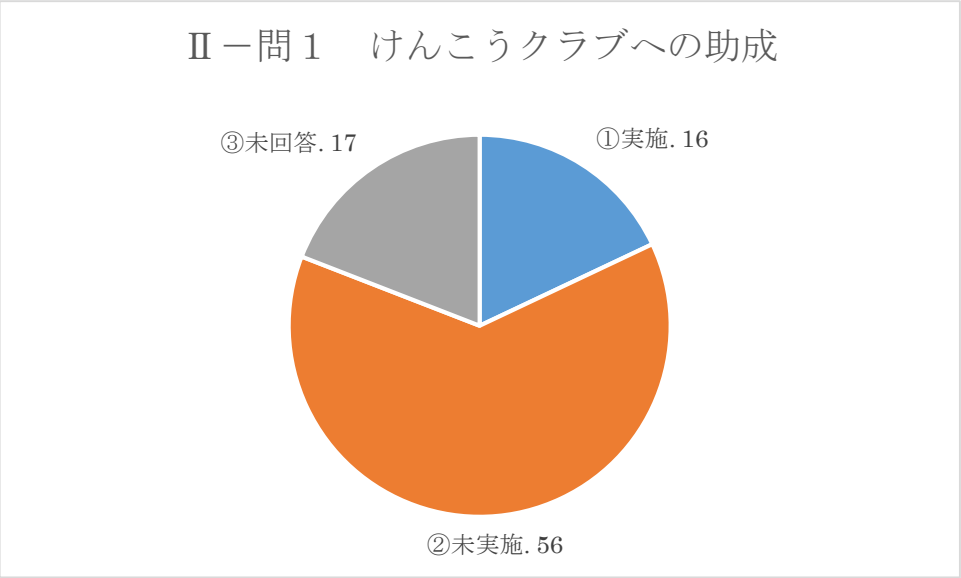
１６自治会において子ども会への助成が行われています。地域では、「内前野」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	16
②未実施	56
③未回答	20

【けんこうクラブへの助成】

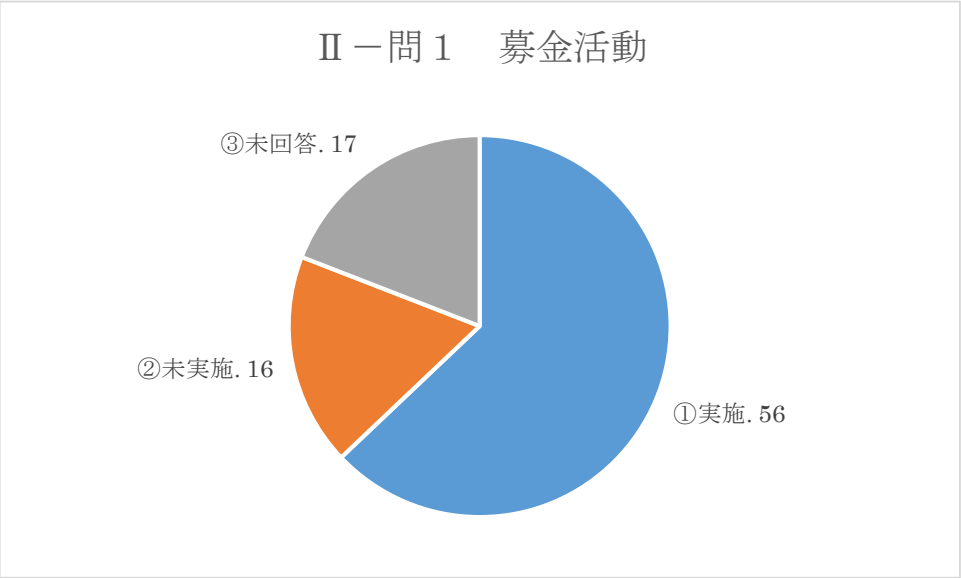
１６自治会において子ども会への助成が行われています。地域では、「河原」、「ゆめみ野」、「内前野」、「魚沼」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	16
②未実施	56
③未回答	17

【募金活動】

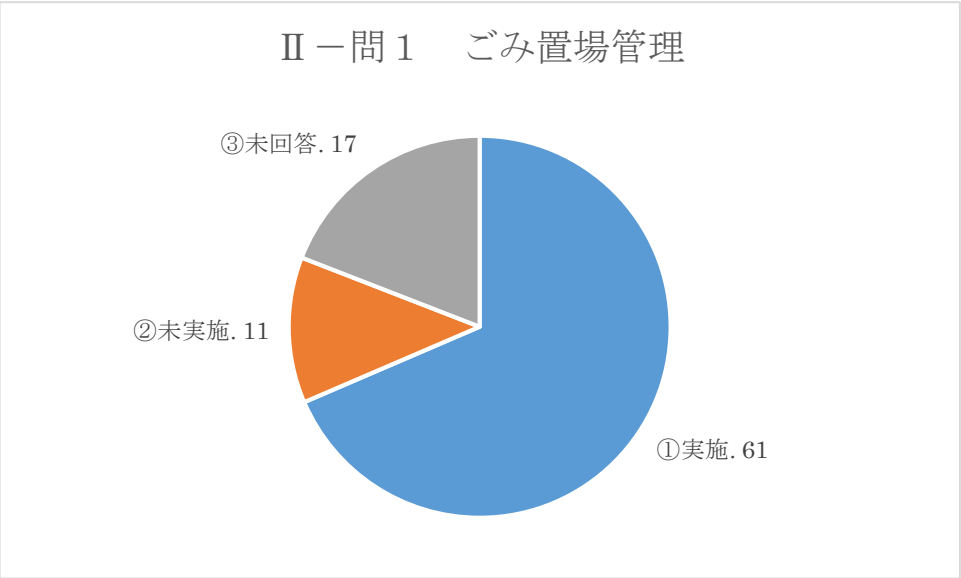
５６自治会において募金活動が行われています。地域では、「河原」、「松葉」、「ゆめみ野」、「内前野」、「大川戸」、「上赤岩」、「金杉」、「築比地上」、「築比地下」、「田中」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	56
②未実施	16
③未回答	17

【ごみ置場管理】

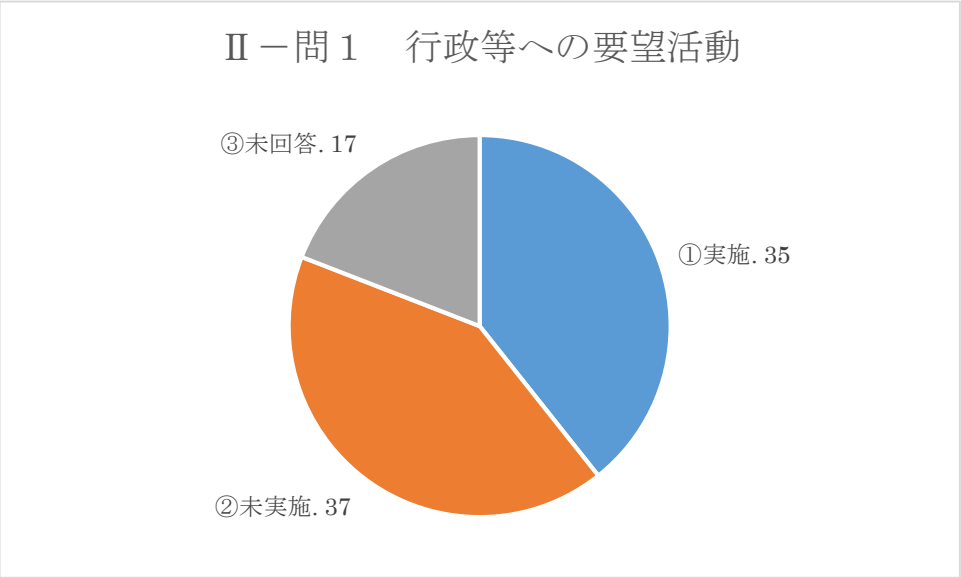
６１自治会においてごみ置場管理が行われています。地域では、「河原」、「松葉」、「ゆめみ野」、「内前野」、「大川戸」、「上赤岩」、「下赤岩」、「金杉」、「築比地上」、「築比地下」、「田中」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	61
②未実施	11
③未回答	17

【行政等への要望活動】

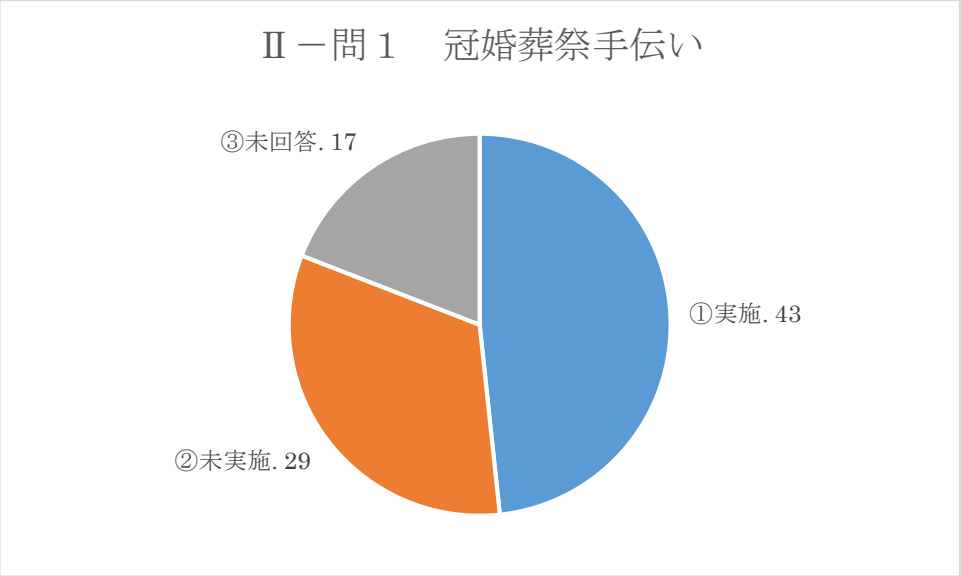
３５自治会において行政等への要望活動が行われています。地域では、「河原」、「松葉」、「ゆめみ野」、「大川戸」、「金杉」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	35
②未実施	37
③未回答	17

【冠婚葬祭手伝い】

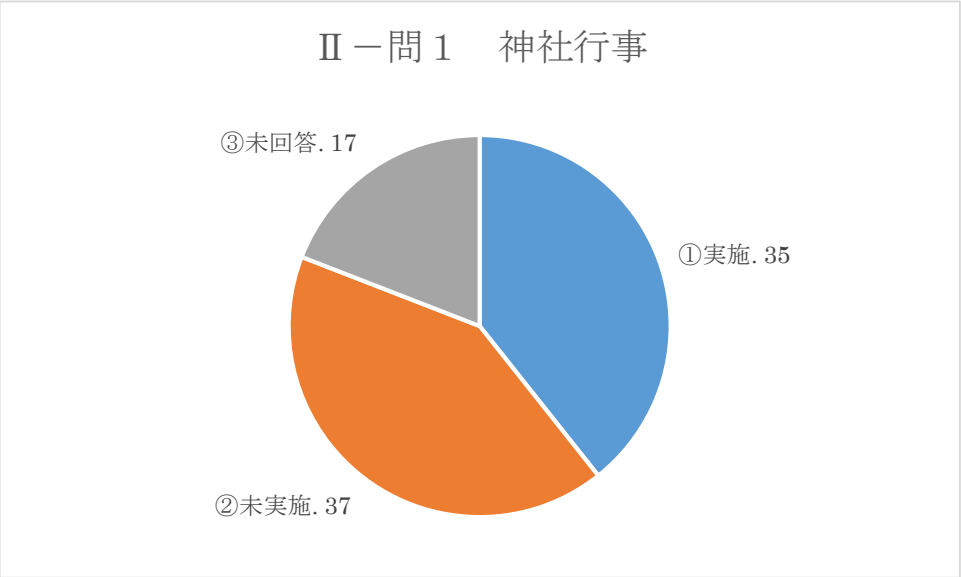
４３自治会において冠婚葬祭手伝いが行われています。地域では、「内前野」、「大川戸」、「金杉」、「築比地下」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	43
②未実施	29
③未回答	17

【神社行事】

３５自治会において神社の行事と関わりを持っています。地域では、「大川戸」、「上赤岩」、「田島」、「金杉」、「築比地上」、「魚沼」地区での実施率が高くなっています。



項　目	回答数
①実施	35
②未実施	37
③未回答	17

【その他】

「ラジオ体操」、「認知症サポーター講座」、「バーベキュー」、「日帰り旅行」などの回答がありました。

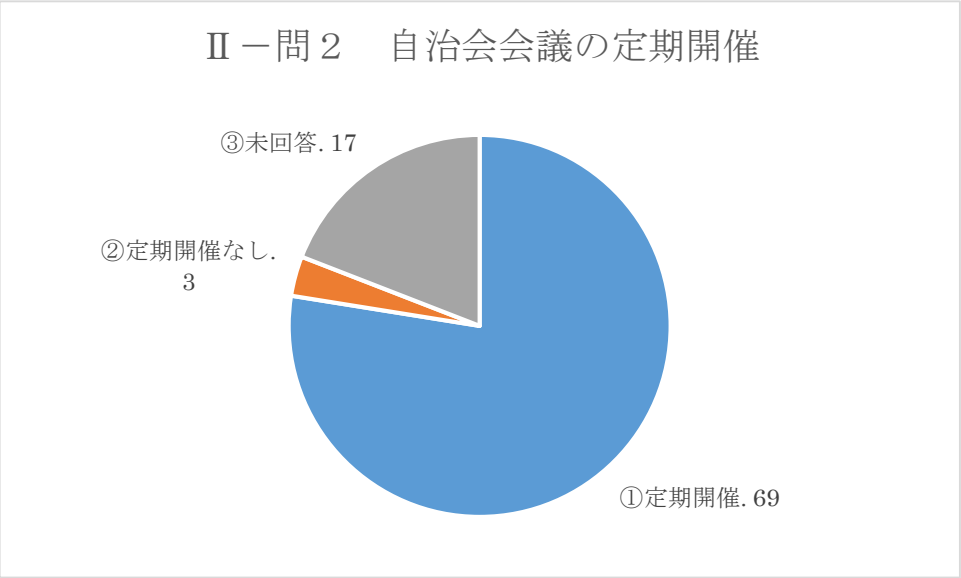
問２　自治会会議の定期開催について

自治会の運営は、組織の規模や地域の歴史的背景などによって異なりますが、地域の誰もが加入できる組織のためには、誰もが納得・理解できる開かれた運営（仕組み）でなければなりません。そのためには、自治会役員などによる「会議」、「打合せ」などの「協議の場」が必要です。アンケート調査では、定期的な会議開催の有無と会議の回数を設問に設定しました。

【定期的な会議開催】

６９自治会が定期的な会議を開催していますが、定期的な会議の回数は、２年に１回から年２０回と大きな幅があります。年１０回以上の会議を行っているのは、「ゆめみ野」、「内前野」、「田島」地区となっています。回答があった自治会において、定期的な会議を開催していない自治会は３自治会でした。

定期的な会議を行っていない理由では、「必要な時に随時」という回答がありました。



項　目	回答数
①定期開催	69
②定期開催なし	3
③未回答	17

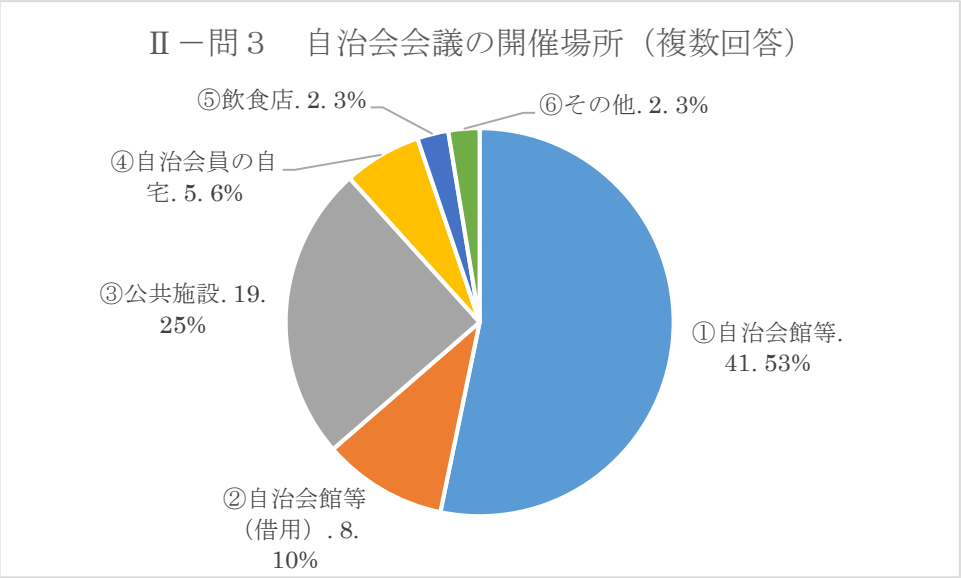
問３　自治会での会議場所について（複数回答）

自治会の会議は「自治会館」などの集会施設で行うことが理想ですが、全ての自治会が自治会館等を所有等しているものでもありません。また、自治会役員の自宅などでは、役員の負担が大きくなることも想定されます。アンケート調査では、この状況を確認する目的で、設問を設定しました。

アンケート調査の結果、８９自治会が「自治会館」又は「公共施設」で会議を行っている一方、一部の自治会では、「自治会員の自宅」や「飲食店」で会議が行われています。

「その他」の開催場所としては、「ＪＡの会議室」、「神社社務所」の回答がありました。

なお、町の公共施設では、自治会利用の際の利用料減免制度を設けています。



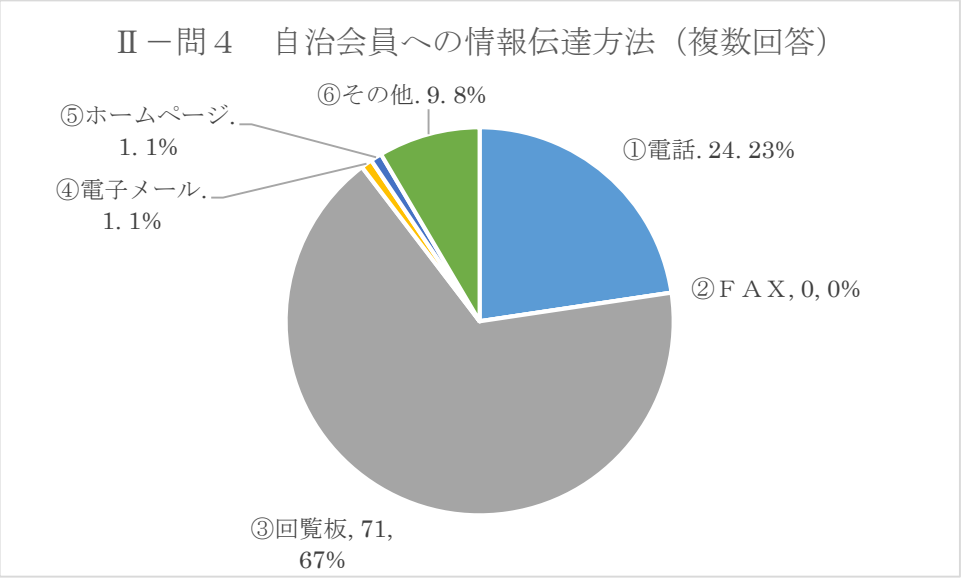
項　目	回答数
①自治会館等	41
②自治会館等（借用）	8
③公共施設	19
④自治会員の自宅	5
⑤飲食店	2
⑥その他	2

問４　自治会員への情報伝達方法について（複数回答）

自治会員への情報伝達の主なものは、今も昔も「回覧板」であること思いますが、多様化するライフスタイルや情報ツールの発達によって、「回覧板」以外の情報伝達手段を取り入れている自治会を確認する目的で設問を設定しました。

アンケート調査の結果、回答のあったほぼ全ての自治会において「回覧板」による情報伝達を行っています。同時に、少数ではありますが、「ホームページ」、「電子メール」、「自治会だより」などにより、自治会情報の提供を行っている自治会もございました。

「その他」としては、「連絡網作成」、「文書通知」などの回答がありました。



項　目	回答数
①電話	24
②FAX	0
③回覧板	71
④電子メール	1
⑤ホームページ	1
⑥その他	9

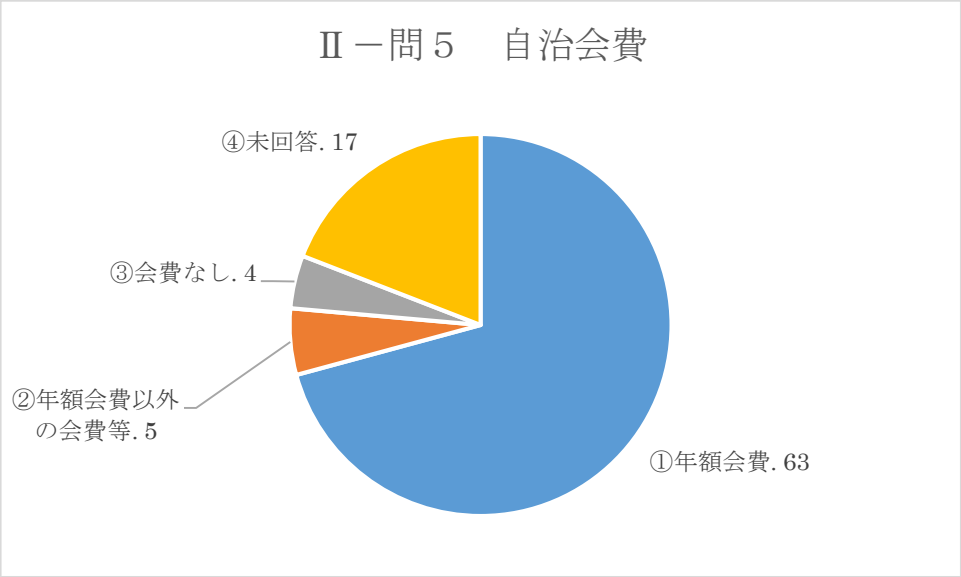
問５　自治会費について

自治会費の設定については、地域の歴史的背景、組織規模、事業内容、地域課題等より一概ではなく、自治会の状況を確認するため設問を設定しました。

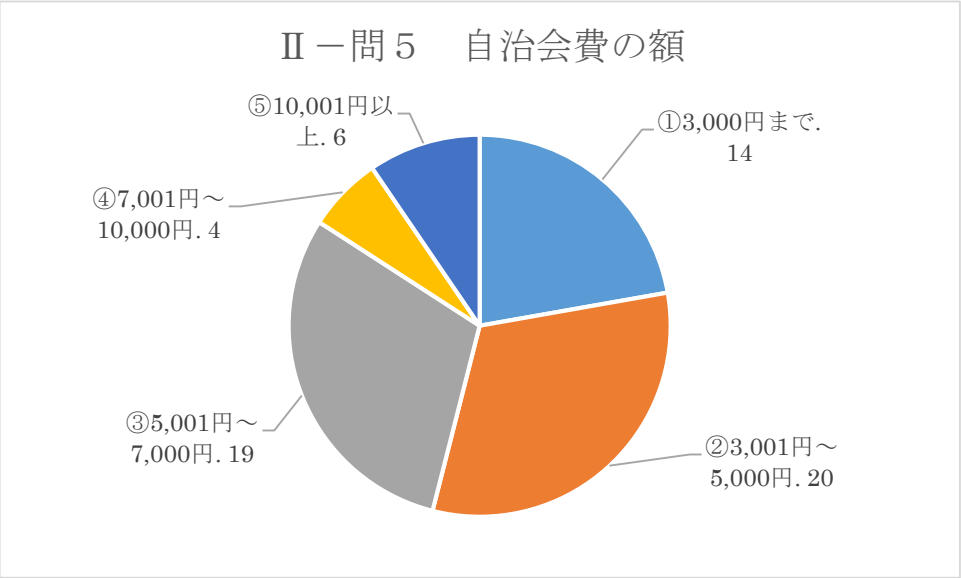
アンケート調査の結果、回答のあった自治会のうち、６８自治会では会費がある一方、４自治会では「会費なし」として、自治会の会費を徴収していない自治会がありました。

また、年額の自治会費を設定している６３自治会の年額会費の額は、「３，００１円～５，０００円」が２０自治会で最も多く、次に「５，００１円～７，０００円」が１９自治会となっています。また、一部の自治会においては、正会員と準会員の制度を設け、それぞれで会費を分けて設定している自治会もあります。（例：正会員：６，０００円、準会員：２，０００円など）

会費の平均額は年額６，０００円（月額５００円）程度ですが、自治会館を所有していることによる修繕費用の積立金などによって、会費の負担額は大きく異なります。



項　目	回答数
①　年額会費	63
②年額会費以外の会費等	5
③会費なし	4
④未回答	17



項　目	回答数
①3,000 円まで	14
②3,001 円～5,000 円	20
③5,001 円～7,000 円	19
④7,001 円～10,000 円	4
⑤10,001 円以上	6

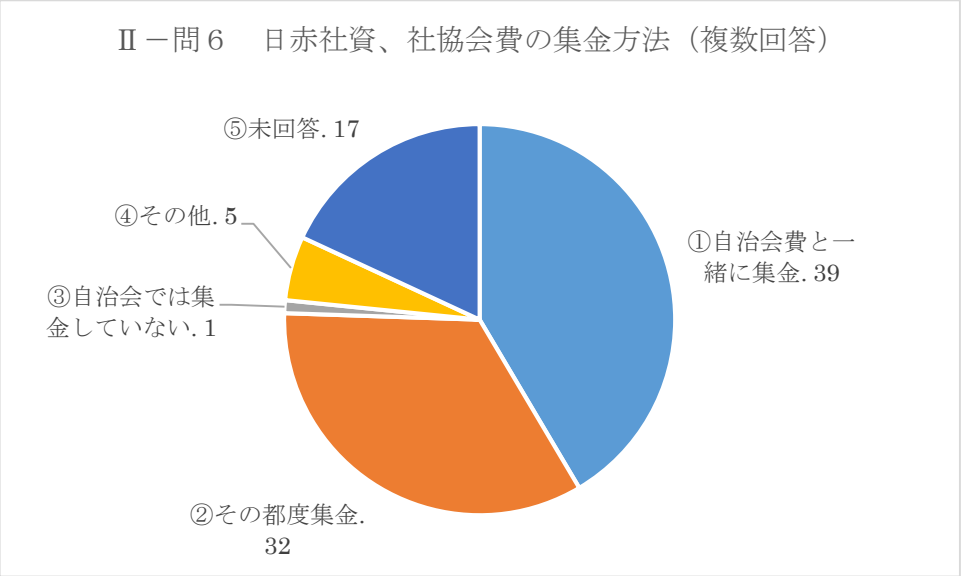
問６　日赤社資、社協会費の集金について（複数回答）

日本赤十字社の社資や社会福祉協議会の会費の集金については、現在、各自治会の協力におり行われていますが、「集金方法」、「自治会加入者・未加入者による負担の公平性」などについて課題もあり、各自治会の状況について確認する目的で設問を設定しました。

アンケート調査の結果、回答のあった７２自治会のうち、３９自治会では「自治会費と一緒に集金」、３２自治会では「その都度集金」で集金方法については大きな差はありませんでした。

一方、「自治会では集金していない」が１自治会ありました。

また、「その他」として、「日赤社資や社協会費以外の赤い羽根募金や歳末助け合いなどを自治会費として徴収した中から納入している」との回答がありました。



項　目	回答数
①自治会費と一緒に集金	39
②その都度集金	32
③自治会では集金していない	1
④その他	5
⑤未回答	17

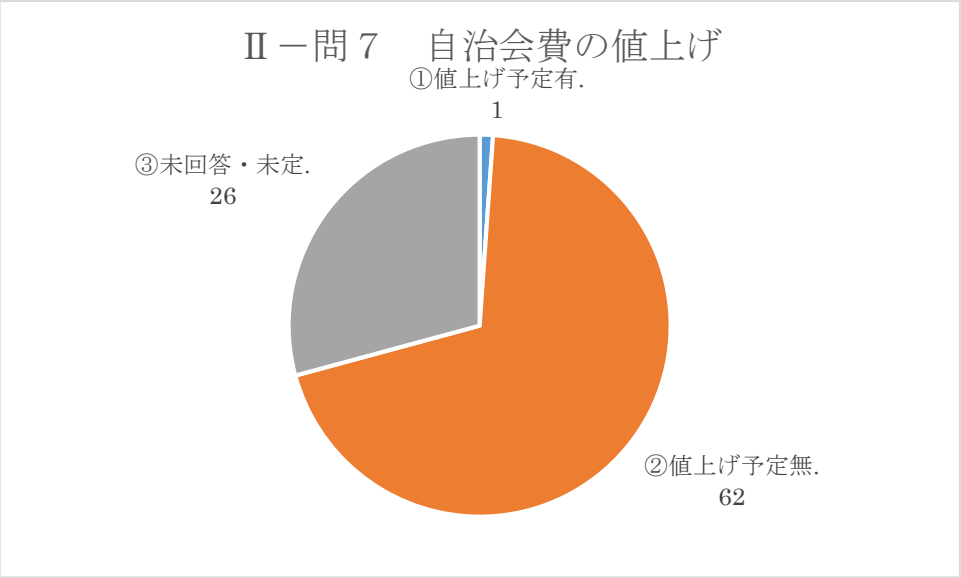
問７　自治会費の値上げや値下げについて

自治会員の高齢化などに伴い、自治会費の支払いに負担感を感じる方がいらっしゃいます。

同時に、自治会費の負担を避けるため、自治会の未加入や退会をする方もおり、自治会加入率の低下要因ともなっています。今後の自治会費の見込みについて確認するため、設問を設定しました。

アンケート調査の結果、６２自治会が「値上げ予定なし」、１自治会が「値上げ予定あり」となりました。

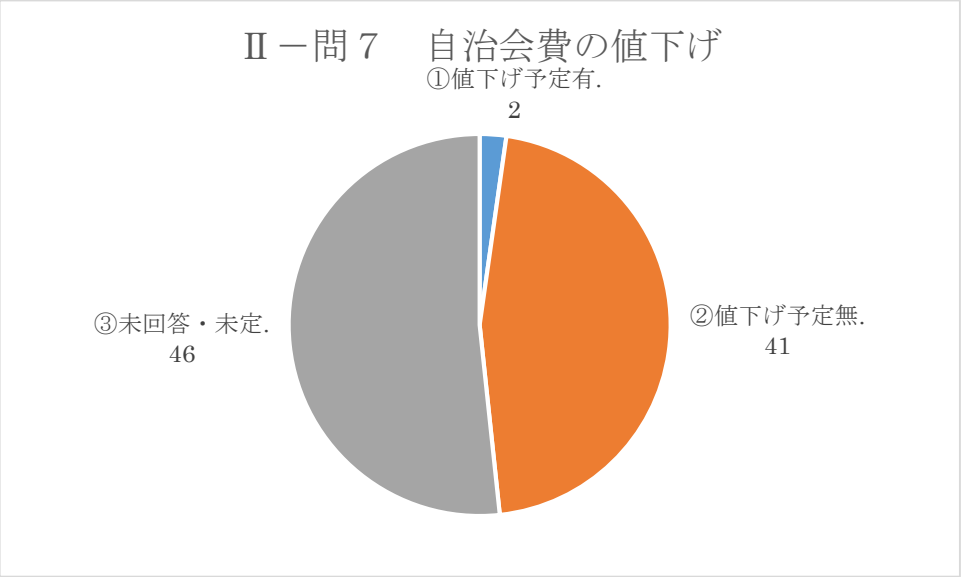
「値上げ予定あり」の理由としては、過去に値下げした経緯があり、自治会運営に不足額が発生したために値上げを予定しているようです。



項　目	回答数
①値上げ予定有	1
②値上げ予定無	62
③未回答･未定	26

値下げについては、４１自治会が「値下げ予定なし」、２自治会が「値下げ予定あり」となりました。

「値下げ予定あり」の理由としては、「自治会館の建替えが完了したため」、「自治会員の高齢化のため」との回答がありました。



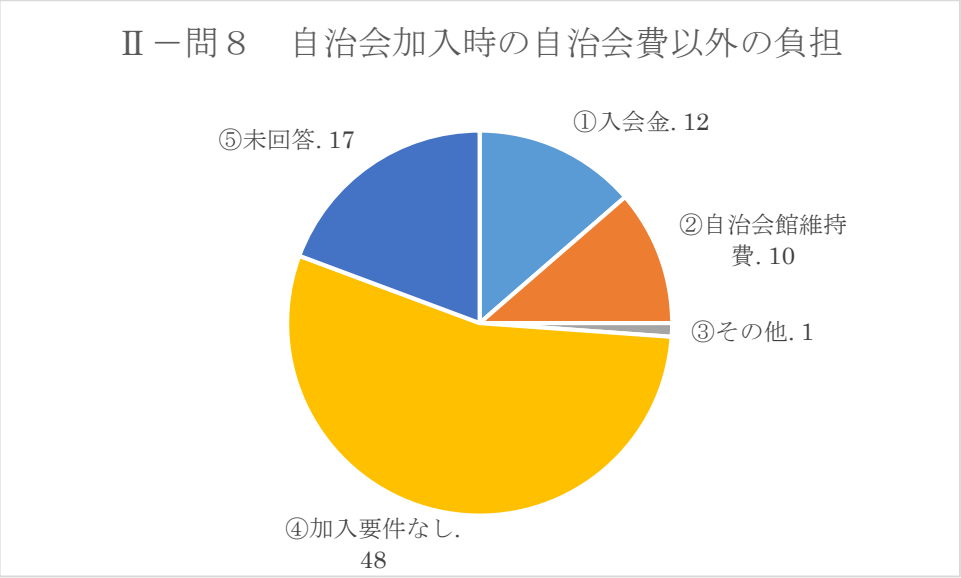
項　目	回答数
①値下げ予定有	2
②値下げ予定無	41
③未回答･未定	46

問８　新たに自治会に加入する場合の自治会費以外の負担について

自治会費と同様、新たに自治会に加入する場合の自治会費以外の負担についても、地域の歴史的背景、組織規模、事業内容、自治会館の有無等より一概でなく、各自治会の状況について確認する目的で設問を設定しました。

アンケート調査の結果、１２自治会で、自治会加入時に入会金制度があり、金額は、１，０００円～７０，０００円となっています。また、１０自治会では、自治会館の維持管理費の負担制度があり、１，５００円～５０，０００円となっています。

その他として、１自治会では、酒１升という自治会もありました。



項　目	回答数
①入会金	12
②自治会館維持費	10
③その他	1
④加入要件なし	48
⑤未回答	17

問９　自治会運営における単身世帯や高齢世帯への配慮について（複数回答）

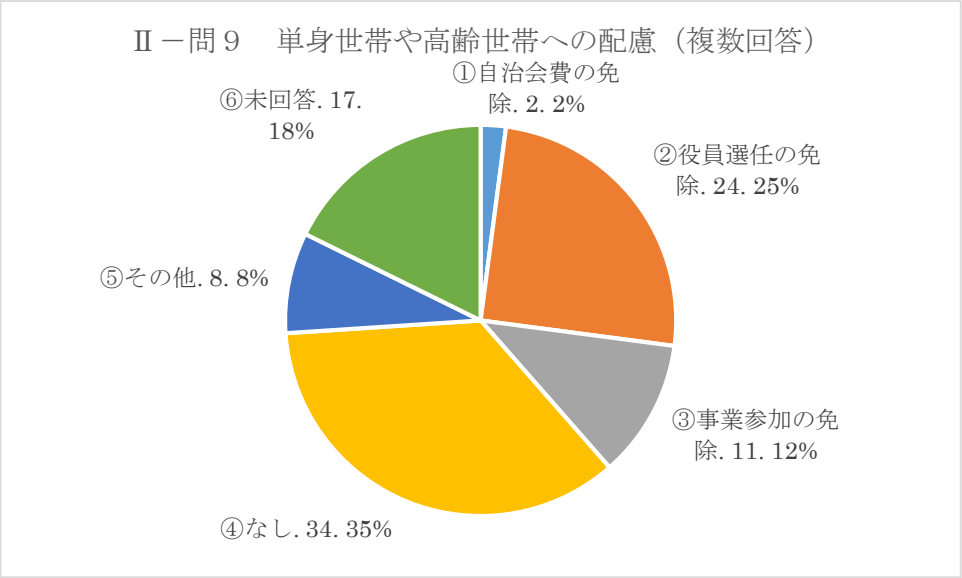
単身世帯や高齢世帯では、自治会の意義や必要性についての理解はあるものの、時間的制約や身体的な衰えにより、自治会事業への参加が難しくなることから自治会加入へのためらいを感じることが多いようです。

このような課題に対し、自治会の対応について確認する目的で設問を設定しました。

アンケート調査の結果、２７自治会において何らかの「免除」措置を講じており、その中でも２４自治会が「役員選任の免除」措置を講じていました。

一方、３４自治会では、「単身」、「高齢」世帯への配慮事項はありませんでした。

また、８自治会では、「その他」として、その都度協議して、何らかの免除等により負担軽減を図っている結果となりました。



項　目	回答数
①自治会費の免除	2
②役員選任の免除	24
③事業参加の免除	11
④なし	34
⑤その他	8
⑥未回答	17

問１０　自治会への加入促進と退会者を減らす取り組みについて（複数回答）

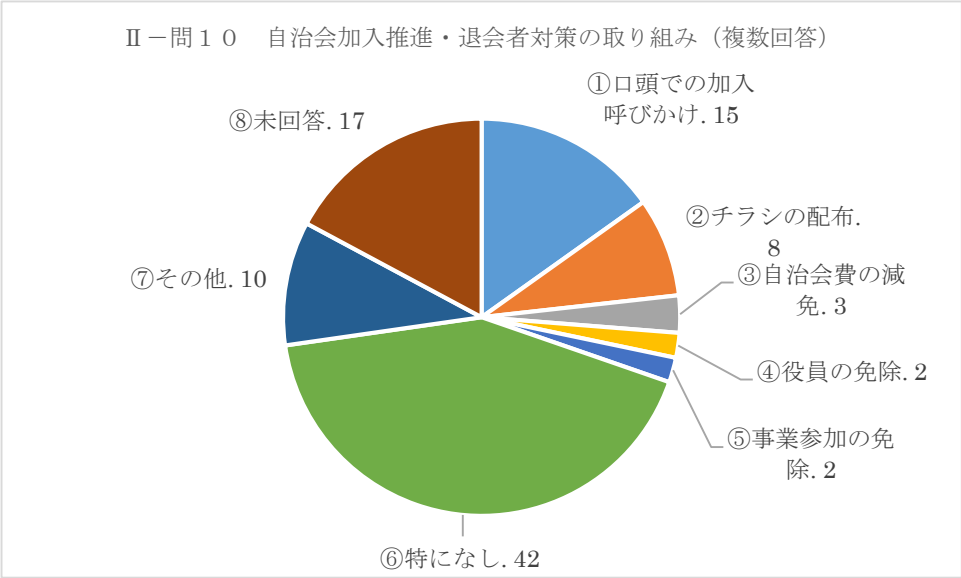
自治会への加入促進と退会者を減らす取り組みとして、町では、「住民ほけん課窓口での転入者に対するチラシ配布」、「自治会ハンドブックの作成」、「自治会に対する各種補助金制度の創設」、「住民活動補償制度の導入」など、各種事業を行っております。

自治会における加入促進や退会者を減らす取り組みがについて確認する目的で設問を設定しました。

アンケート調査の結果、１５自治会で「口頭による加入の呼びかけ」を行っており、加入推進策として最も多くの自治会で取り組まれています。

一方、４２自治会では「特になし」と回答し、自治会における加入推進や退会者を減ら取り組みは行われていません。

「その他」としては、自治会活動など知ってもらう資料（自治会だより）を配布するなどの回答がありました。



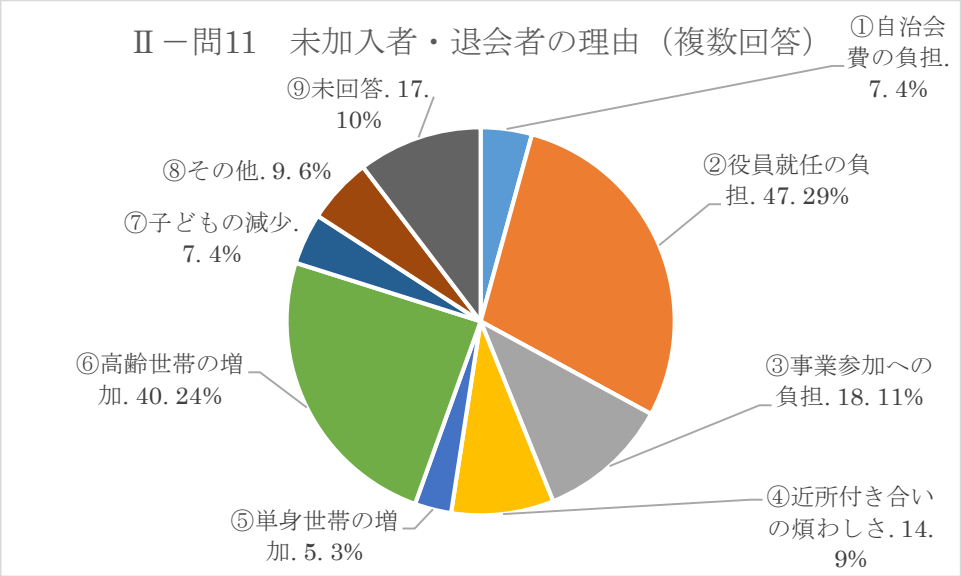
項　目	回答数
①口頭での加入呼びかけ	15
②チラシの配布	8
③自治会費の減免	3
④役員の免除	2
⑤事業参加の免除	2
⑥特になし	42
⑦その他	10
⑧未回答	17

問１１　自治会未加入や自治会退会の理由について（複数回答）

自治会運営において、最も大きな課題である、「自治会未加入」、「自治会退会」について、その理由を確認する目的で設問を設定しました。

アンケート調査の結果、４７自治会で「役員就任への負担」が最も多い未加入・退会理由となりました。次に４０自治会で「高齢世帯の増加」と回答されました。

「その他」としては、「仕事が忙しい」、「加入しなくても生活に困らない」、「自治会館維持費の負担」などの回答がありました。

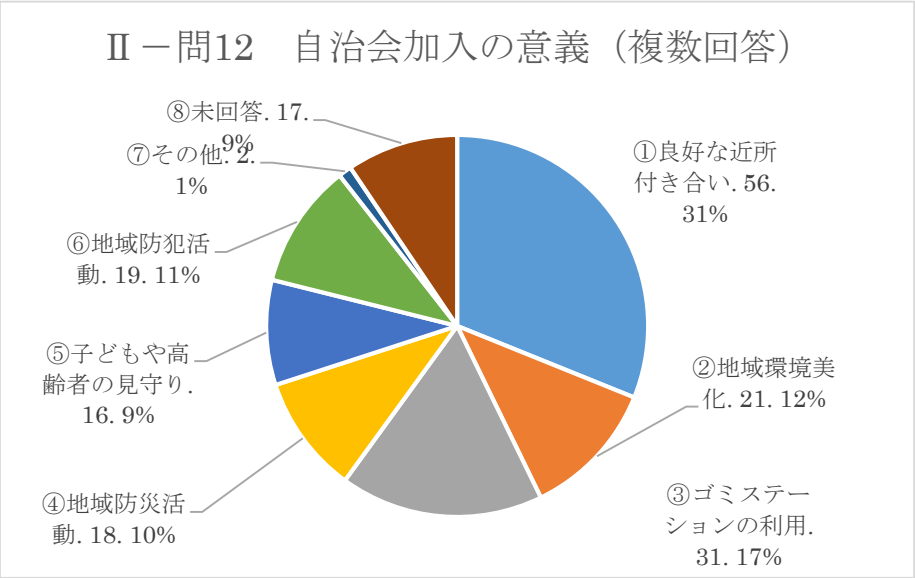


項　目	回答数
①自治会費の負担	7
②役員就任の負担	47
③事業参加への負担	18
④近所付き合いの煩わしさ	14
⑤単身世帯の増加	5
⑥高齢世帯の増加	40
⑦子どもの減少	7
⑧その他	9
⑨未回答	17

問１２　自治会加入の意義について（複数回答）

自治会加入の意義について、自治会運営での意義を確認するため、設問を設定しました。

アンケート調査の結果、最も多い回答が、５６自治会で「良好な近所付き合い」、次に、３１自治会が「ゴミステーションの利用」となりました。



項　目	回答数
①良好な近所付き合い	56
②地域環境美化	21
③ゴミステーションの利用	31
④地域防災活動	18
⑤子どもや高齢者の見守り	16
⑥地域防犯活動	19
⑦その他	2
⑧未回答	17

Ⅲ　自治会館等について

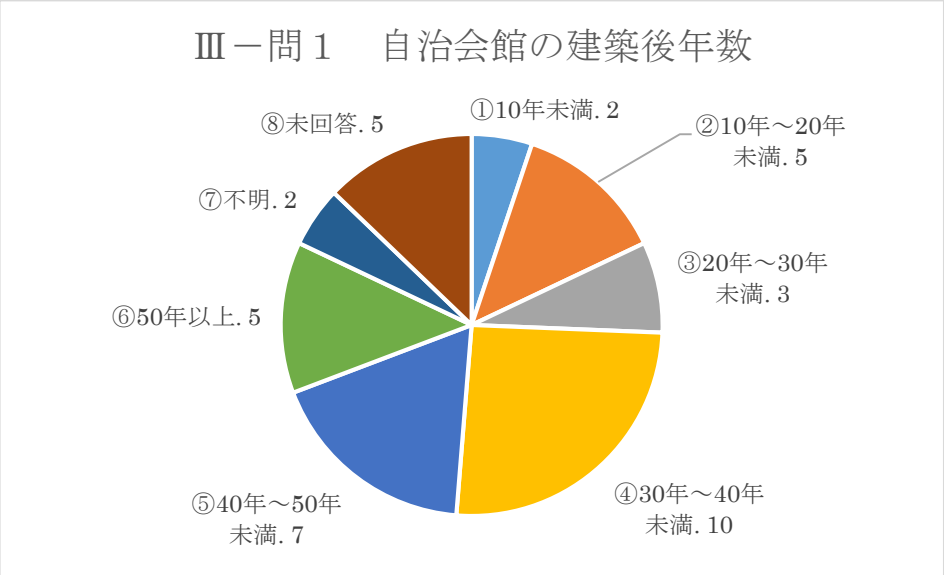
Ⅲでは、自治会館等の修繕、建替えなどについて設問を設けました。現在利用されている自治会館の多くは、建築後３０年以上が経過し、老朽化による修繕費の増加、自治会員の減少による自治会館の担い手不足が課題となっております。これらの状況と今後の自治会館の大規模修繕や建替えの予定を確認するため、設問を設けました。

問１　自治会館等の建築年数と１０年以内の建替え、大規模修繕の予定について

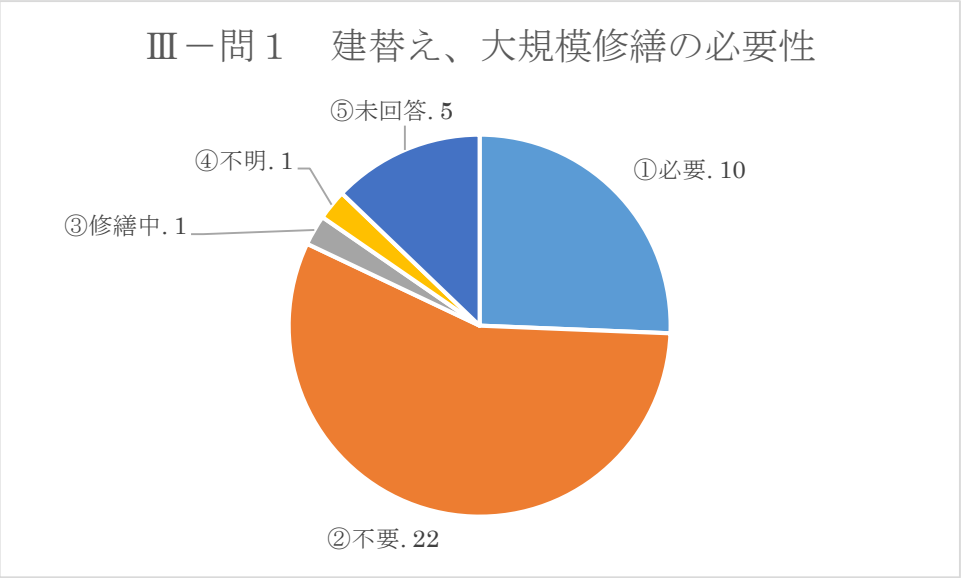
現在、３９自治会に対し、自治会館等維持管理費補助金を交付しています。アンケートには、３４自治会から回答がありました。

アンケート調査の結果、建築後３０年以上の自治会館が２２件（約６５％）を占め、中でも建築後５０年以上の自治会館が５件となっており、自治会館の老朽化とともに建替えや大規模修繕の必要性が迫っています。

また、自治会館の老朽化に伴う１０年以内の建替えや大規模修繕の必要性については、１０件が「必要」と回答しています。



項　目	回答数
①10 年未満	2
②10 年～20 年未満	5
③20 年～30 年未満	3
④30 年～40 年未満	10
⑤40 年～50 年未満	7
⑥50 年以上	5
⑦不明	2
⑧未回答	5

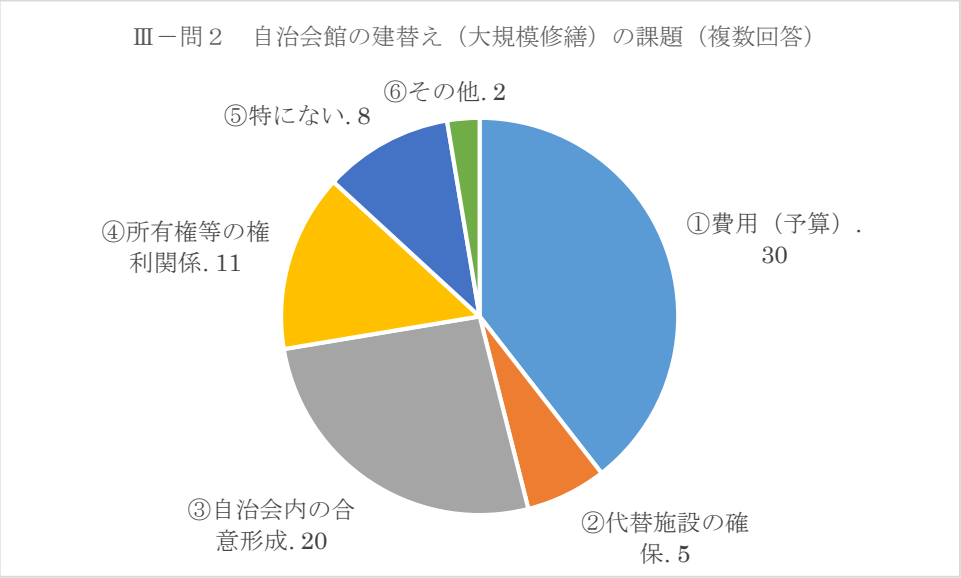


項　目	回答数
①必要	10
②不要	22
③修繕中	1
④不明	1
⑤未回答	5

問２　自治会館の建替えや大規模修繕の課題について（複数回答）

アンケート調査の結果、３０自治会が「費用（予算）」と回答し、次に２０自治会が「自治会内の合意形成」と回答しました。

アンケート結果からも、自治会館の建替えや大規模修繕には多額の費用と自治会内の合意形成について課題と回答している自治会が多く、これらの課題を解決していくためには、継続的な話し合いと長期的な計画が必要です。約６５％の自治会館が建築後３０年以上を経過している状況となっている今、建替えや大規模修繕の有無に関わらず、日頃から自治会内における話し合いが必要です。



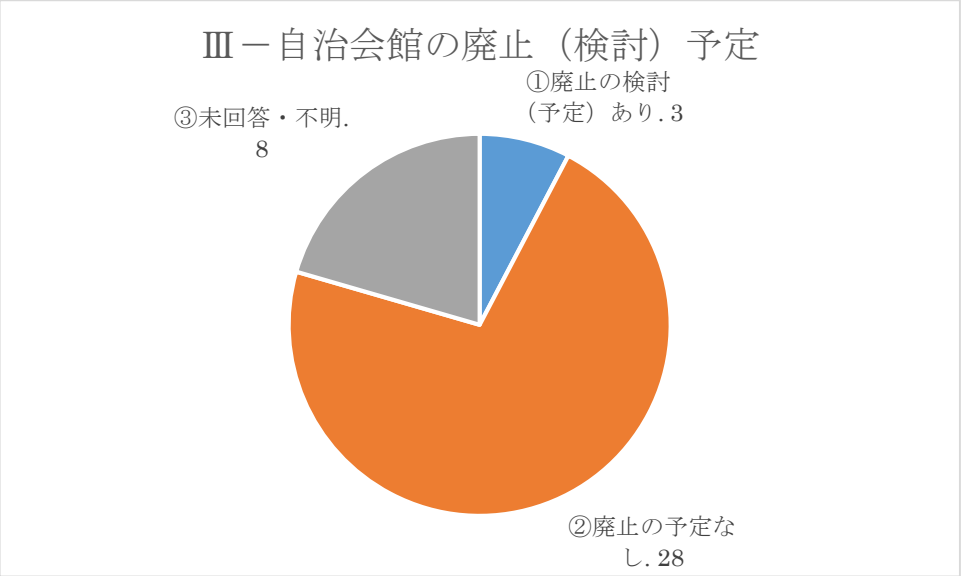
項　目	回答数
①費用（予算）	30
②代替施設の確保	5
③自治会内の合意形成	20
④所有権等の権利関係	11
⑤特にない	8
⑥その他	2

問３　自治会館の建替え、大規模修繕の検討に併せた、自治会館の廃止の検討について

自治会館は地域コミュニティのシンボルとして、地域住民にとっては大変重要な施設です。

一方、自治会館の老朽化には多額の建替え、大規模修繕に伴う費用が発生するため、自治会内の合意形成の課題も多く、自治会館の「建替え」、「大規模修繕」に併せて、「自治会館の廃止」について、選択肢の１つとしての「検討」などが行われている状況について確認するため、設問を設定しました。

アンケート調査の結果、２８自治会では「廃止の予定なし」と回答がありました。一方、老朽化と同時に自治会員数が減少傾向にある自治会においては廃止の検討もされています。



項　目	回答数
①廃止の検討（予定）あり	3
②廃止の予定なし	28
③未回答・不明	8

問４　自治会館の廃止又は廃止の検討をする場合の課題について（自由記入）

（この項目ではグラフ化は行いません。）

この項目は、自由記入欄としました。結果、「会員の高齢化」、「自治会員の減少」、「公共施設の方が手間がいならい」などの意見があり、今後の自治会館の維持に関する不安をお持ちの意見がありました。

Ⅳ　その他

Ⅳでは、自治会運営の課題や独自の工夫について、自由記入として設問を設けました。

アンケート調査の結果としては、グラフ化は行わず、代表的な意見や他の自治会の参考にあると思われる事例について紹介します。

問１　自治会運営の課題や問題点

① 高齢化

② 自治会員の減少

③ 自治会員の減少による財政難
④ 若者の意見が通らない
⑤ リーダーシップを取る方の減少
⑥ 役員のなり手不足
⑦ 輪番で役員が回ってくると自治会を退会する人が多い
⑧ 子ども会がないので、自治会の存在意義が薄い
⑨ 若い人の自治会活動への参加が少ない
⑩ 事業実施について、一部の会員のために会費を使うのは駄目という強硬な意見の人がいた。多数決で実施したが、意見した本人は不満で退会。意見対立はこの他にも多い

問２　自治会未加入の世帯が増える理由

① 役員就任の負担、高齢世帯の増加
② 自治会に加入してもメリットがない
③ 加入しなくても困らない
④ 自治会の意義や役割が理解されていない。特に比較的若い世帯は共働きが多く、自治会役員はもとより、会員になることすら、なんら自己の利益にならないとの考えが見られる。
⑤ 自治会活動がわかりにくい。
⑥ 自治会加入時に入会金が負担
⑦ 近所付き合いの煩わしさ

問３　今後、自治会に期待される役割

① だれでも参加できる事業の実施
② 自助、共助の大切さの啓発
③ コミュニケーション作り
④ 高齢世帯対策（声かけなど）
⑤ 防災、防犯活動
⑥ 若い世代の参加を促すための、子どもを対象とした事業

問４　自治会運営において独自の工夫

① 役員の負担軽減を図る
② 子どもと大人が気軽に参加できる事業として「ラジオ体操」をやったところ好評だった
③ 町民まつりへ参加し、会員の親睦を図るとともに、収益金を自治会事業費として活用